

戦争の準備許されない

松江革新懇が総会&記念講演

今年の記念講演は、かつて軍需産業に勤務した経験から兵器に造詣の深い堀木義信さんによる「最新兵器と現代の戦争」と題した講演でした。ウクライナ戦争をきっかけに、岸田首相は海外での戦争を視野に兵器の大量購入などに前のめりになっています。兵器について講演を聴くまで日本の軍需産業が、米、中、欧州と肩を並べる世界でも有数の国になっていたことに驚かされました。

兵器の開発をステルス为例に話されましたが、攻撃に

ミサイルを発射する。そんな戦争がウクライナやアフガンですで行われています。講演の後、総会を開きました。憲法に違反する戦争準備を許さず、民主主義を守り、暮らしを豊かにする日本をめざす革新懇運動をこれからも広げていくことを採択して総会を終えました。



総会で記念講演する堀木氏

住み続けられる地域へ

中海振興ビジョンと地域おこし学ば 八束の会

7月29日八束公民館にて、八束の明日を考える会（藤井伸士会長）が「持続可能な地域づくりを考える、中海振興ビジョンと八束のまちづくり」と題して市政報告&研修会を開催、36名の市民が参加しました。松江市SDGs推進課岡田等課長、八束支所荻野智支所長が講演、たちばなふみ市議が議会報告をしました。

岡田課長は今年3月に策定した「中海振興ビジョン」の概要について講演。策定に至るまでのワークショップの内容についても報告、中海の環

境保全、歴史や文化を活かすこと、そして人材育成をしていくことが未来への要だと話されました。未来へつなぐ6つのアクションプランを今年度作成中とのことです。

荻野支所長は、4月に着任してから感じている八束の魅力について「生命科学を学ぶには絶好の地」という切り口で地域振興への思いを熱く語られました。

たちばな市議は、先般美保基地への米軍戦闘機の緊急着陸問題や原発、コロナ対策、農業問題、子育て支援、子ど



岡田氏から説明を受ける研修会参加者

もの医療費や猛暑対策など市議会の対応を報告しました。中海地域の振興、中海の水質改善や漁業問題に関心のある町外の方の参加もあり、意見交換の場となりました。

子ども大切に 学校に福祉の目を

たちばなふみ市議 一般質問④

たちばなふみ市議は6月議会で4項目の質問をしました。「学校に福祉の目を」スクリーンソーシャルワーカー活用事業」について報告します

これまでお金の心配なく学べる、子どもの権利を大切に

見表明など子どもの権利が着目されています。コロナ禍で家計や家庭環境が悪化した子どもが多く、不登校、虐待などが増える中で「学校に福祉の専門家を」と注目されているのが社会福祉士の活動であるスクールソーシャルワーカー（以下SSW）です。

松江市でのさらなる活用と周知を求めて、①SSW活用事業とは何か、松江市での取組や効果、専門職配置や各学校への配置の現状について、②松江市で拡充するための課題は何か、③社会福祉士の育成、教員の負担軽減のために

質しました。成相副教育長は「現在11名のSSWのうち社会福祉士が5名。7名を7中学校区に配置し、4名を必要に応じて派遣している。役割の明確化と、SSW同士やスクールカウンセラー、サポートワーカーなどの専門性を持つ職員が広域的に連携し、効果的な課題解決に結び付けたい。そのためにSSWの育成を図っていきたい」と答えました。

たちばな市議は「学校現場は、ただでさえ教員不足で、複雑な家庭の問題への対応は難しく、専門家であるSSWが関わることで問題を解決できる可能性が高まり、教員の長時間労働の改善も期待できると言われている。何より学校の主役である子どもたちのためにSSW活用を広めてほしい」と訴えました。

保育所等における虐待防止について①

舟木けんじ市議 一般質問④

舟木けんじ市議は6月議会

舟木市議は、相談者の情報公開請求により明らかにされた一般監査で認められた4つの事実は、厚労省の『不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き』に示された不適切な行為に該当する可能性が極めて高く、



舟木けんじ市議

「今回の監査は不十分な監査と疑われかねない」と指摘し、「再度精査・検証を行い、説明責任を果たすことが必要ではないか」「今回の事案発覚は、子どもの心身の変調を心配した保護者の相談機関への

相談によるものであり、子どもと保護者のケアについて園側に真摯な対応が求められているのではないかと市の見解を質しました。

青木佳子子ども子育て部長は、「個別の事案には回答しない」「通報や相談には市が監査を行い、是正すべき点があれば指導監査は正改善項目を指示し、改善状況を報告してもらう」「新たに苦情相談があれば再度調査し施設に指導を行い必要に応じて監査を実施する」「厚労省『手引き』のとおり「子どもへの心のケアや保護者への丁寧な説明が求められる」と考える」と答弁しました。